学級における指導計画（例）

（平成○○年度　△年□組）

道徳教育の全体計画

学校の道徳教育の重点目標

学年の道徳教育の重点目標

生徒・保護者・教師の願い

・自分のよい所をのばし互いに励まし合いたい。
・礼儀正しく，思いやりを持ってほしい。
・進んで学習してほしい。

学級経営の方針

・一人ひとりが生き生かされる学級。
・規律正しく，学習に集中できる学級。

学級における道徳教育の方針

1　人間尊重の精神を基本とし，自他の心身を大切にし，思いやる心を育てる。
2　自分自身の生き方について深く考え，進んで将来を切り拓く意欲を育てる。
3　基本的な生活習慣を身に付け，進んで集団生活の向上に努める態度を育てる。

生徒の道徳性の実態

・明るく活発な様子が見られる。
・少しずつ集団としてまとまりつつある。

各教科・総合的な学習・特別活動

・人間としてのよりよい在り方について考えを深め，よりよい生き方へのあこがれを育てる。
・地域との連携を深め，地域社会の一員としての自覚を高める。
・生徒会活動や委員会活動に積極的に参加し，役割を遂行しようという態度を育てる。

道徳の時間の基本方針

1　学校の教育活動全体で行われる道徳教育を補充，深化，統合する。
2　生徒一人ひとりが，よりよい人間としての生き方を主体的に求めていこうとする意欲を高める。
3　教師・生徒が互いの考えを交換し，一人ひとりの発言を認め合うとともに，高め合う場とする。
4　授業の多様な展開を心がけ，資料等の収集に努め，個に応じた指導の工夫をする。

学級生活における豊かな体験活動の計画

・体育祭，合唱コンクールへの参加を通して集団の一員としての責任，連帯意識を育てる。
・学級菜園の栽培を通し生命を大切にする態度を養う。

学級における教育環境の整備計画

・言葉遣いを大切にし，掲示物や言語環境を整える。
・清掃活動を通して，落ち着いた環境の整備に努める。

基本的な生活習慣に関する指導計画

・時間を守り，きまりよい生活に努める。
・TPOに合った服装ができるようにする。
・食文化を大切にし，きちんとした食事をする。

生徒指導に関わる道徳教育の視点

・マナー・モラル・ルールを生活のきまりの中で考えさせていく。
・学校教育相談機能を生かし，生徒の自己理解や自己形成に関して援助していく。

他の学級・学年との連携

・異学年間の交流を深め，生徒相互の人間関係を築き，よりよい校風をつくる。（運動会の応援団・部活動など）
・学年間の情報交換を密にし，教師間の連携を深める。

家庭や地域社会との連携

・「道徳の時間の地域公開」を行い，地域の人たちと共に道徳教育の推進を図る。
・「学級便り」の発行を通し，情報の交換，意見交換を行い，地域・家庭との連携を密にする。